

2025
夏号

医学図書館 整備事業

ごあいさつ
受入実績
活動報告
事業計画
寄附特典のご案内



Medical Library Improvement Project



九州大学医学図書館

ごあいさつ

2025年4月より医学図書館長を拝命いたしました、小田義直と申します。
このたびは、医学図書館整備事業に多大なるご寄附を賜り、心より御礼申し上げます。

本事業は2023年10月に始まり、昨年度末までの1年半で、676万2千円のご寄附を頂戴いたしました。

2024年度は、皆様のご寄附を活用し、学習機の増設や専門書籍の新規購入、エネルギーコストの補填による学習環境の維持など館内の整備を行いました。

特に、24時間開放している当館において、空調の効いた静かな空間は、学生たちの長時間学習を支える大きな力となっております。

また、当館が所蔵する貴重資料や設備を活用し、展示会や学生によるミニコンサート、講習会などのイベントも開催いたしました。これらの催しには地域の皆様にも多数ご来館いただき、医学図書館は、学びと交流の場として着実に成長を遂げております。

2025年度は、学生の学習環境のさらなる充実を図るとともに、当館が所蔵する貴重資料の整備およびデジタル公開や展示を推進してまいります。

本事業は、病院キャンパスにおける学習・教育・研究を支える場として、また地域社会との「共創」の場としての図書館を安定的・継続的に整備をすることを目的としています。

皆様には、今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



九州大学医学図書館長
小田 義直

医学研究院教授 形態機能病理学

受入実績（令和6年度）

寄附受入額 **1,380,000円**

【R5～R6 寄付総額 6,762,000円】

件数 **58件**

【延べ件数 91件】

令和6年度 活動報告

病院キャンパスでの学びを支援するため、様々な活動を行いました。

中村哲写真展 -次世代へ継ぐ強さと優しさ 医療活動を中心に-

開催期間 2024/8/1-2024/10/31



ペシャワール会の協力のもと、中村哲医師の足跡を辿る写真展および、ドキュメンタリー上映会を開催しました。本写真展は多くのメディア・SNSに取り上げられ、学内外からたくさんの方に足を運んでいただき、大変盛況のうちに終了することができました。



中村哲著述アーカイブ

久保猪之吉 生誕150周年記念貴重書展

開催期間 2024/11/6-2025/1/31

久保猪之吉(1874-1939)は耳鼻咽喉科の初代教授で、「イノ・クボ」の名で近代耳鼻咽喉科学の先駆者として世界に知られました。彼の生誕150周年を記念して、久保記念館所蔵の稀覯本や個人蔵書、幻の文芸雑誌「エニグマ」等を展示しました。これを機に今回展示できなかった資料も含め、久保記念館の貴重な資料を医学図書館へ移管しました。今後展示会を行う予定です。



九州帝国大学医学部の学位論文整備

大正10年から昭和9年(1921-1934)の旧制学位論文、約680件を整備しました。著名な人物の論文も含まれ史料的価値が高いため、全ての資料に殺虫処理などの保存対策をし、酸化を防ぐため中性紙箱に入れた上で貴重書室に配架しました。整備した論文情報は、下のQRコードから確認できます。



学生・利用者のための環境整備、学生サークルによるコンサートの開催

グループ学習室に電子黒板を導入



5/13、5/15九大フィルミニコンサート



12/18吹奏楽部ミニコンサート



8/8 BLS講習会



令和7年度 事業計画

企画展等は、すべて入場無料です。ぜひお越しください。

本でめぐる、医学の世界展

開催期間 2025/8/1-2025/11/3

歴史の教科書などに登場するおなじみの資料が、実は医学図書館に所蔵されています。今回「本でめぐる、医学の世界」と題して、ヒポクラテス、貝原益軒、杉田玄白、華岡青洲、シーボルト、ダーウィン、北里柴三郎など、著名な医学者らの代表的な著作を展示します。『解体新書』や『種の起源』、ヴェサリウスの『人間の身体の構造(通称fabrica)』などぜひ生でご覧ください。



病を見る、見せる展

開催予定 2025年開催予定

写真も動画も無い時代、人体の構造や病気の症例を伝えるため、先人たちがいかに格闘したかをたどる展示です。このたび久保記念館から移設された、耳鼻咽喉科初代教授である久保猪之吉が集めた貴重資料を中心に、書籍のほか、掛け軸やムラージュなどの資料を展示いたします。



貴重古医書の保存と公開

国内最高水準の貴重古医書コレクション(約7,000点)等の整備と保存・修復を持続的に実施し、展示企画等で貴重資料を広く一般に公開します。これらの資料は専門家による修復作業を進め、専用機材での撮影を行い、デジタル画像の公開をする予定です。



デジタル画像の公開

寄附特典のご案内

医学図書館オリジナルグッズ

マイクロファイバークロス（眼鏡拭き等にお使いいただけます）・クリアファイル

ヴェサリウス『人間の身体の構造』
【1555年 細菌学教室旧蔵】より



ヴェサリウスによる『人間の身体の構造』は、解剖学者自身が実際に観察したことによる細かな内容と、骨格人や筋肉人が様々なポーズをとっている見事な図により、医学のみならず美術分野にも大きな影響を与えました。（同じ柄のクリアファイルも同封しております。）



井上探景画 三宅半四郎 『流行悪疫退さんの図』
【1886年 泌尿器科学教室旧蔵】より



泌尿器科学教室旧蔵の錦絵は、疱瘡や麻疹等、疫病に関するものを中心としており、江戸時代の疫病観を窺う上で貴重な資料です。今回はその中から、コレラについての『流行悪疫退さんの図』をマイクロファイバークロスにしました。幕末から明治期に流行したコレラには、「虎烈刺」「虎狼狸」などの字が当てられました。この絵は、虎をモチーフにした怪獣をコレラに見立て、人々が追い立てる様子を描いています。洋装の男性が虎に向けて噴射しているのは石炭酸で、消毒についての知識が進歩していることを表しています。

紙クリップ

『五臓之守護并虫之図』【眼科教室旧蔵】より



伝統的な東洋医学では、人間の内臓は五臓（心・肺・肝・腎・脾）と六腑（胃・小腸・大腸・膀胱・胆嚢・三焦）から成り、その中に住む虫が様々な病の原因となると考えていました。五臓に宿る五虫と体内に巣くう18種の想像上の虫を描いた江戸期の写本『五臓之守護并虫之図』から、紙クリップを作成しました。

医学図書館寄附者銘板の設置

ご寄付をいただきました方への感謝の意を表すことを目的に、「九州大学医学図書館寄附者銘板」を設置いたしました。10万円以上のご寄付をいただいた皆様（ご希望者のみ）のご芳名を医学図書館入口の銘板に掲載しています。本棚に本が並んでいるように見立てた、オリジナルの銘板となっています。



医学図書館見学ツアー

新しくなった医学図書館を図書館スタッフがご案内します。ツアーでは、病院キャンパスの歴史の中で蓄積された貴重な資料をご覧いただけます。1名様からご予約可能ですので、下記担当係までご連絡ください。

【お申し込み先】医学図書館閲覧係

TEL：092-642-6037 / E-mail：tieetura@jimu.kyushu-u.ac.jp

※資料の一例



シーボルト『日本』



『本草通串證図』



九州大学医学図書館

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
Tel 092-642-6035 Fax 092-642-6041
E-Mail tiuukemo@jimu.kyushu-u.ac.jp

お申込み、詳細はこちらから

九大医学図書館整備事業



<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/kikin/med>

